

【施設状況】

グループ名称	吉田公民館、吉田老人福祉センター								
指定管理者名	吉田地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副	101000	高齢者活躍支援課			
構成施設	3313	吉田公民館							
	1380	吉田老人福祉センター							
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【公民館】：教室1、教室2、教室3、教室4、大教室、和室・茶室、音楽室、調理室、多目的ホール、図書館分室、資料室 【老人福祉センター】：ボランティアルーム1 共通：事務室								
施設設置目的	【公民館】：地域住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の拠点として、より開かれた身近な地域の中心施設としてまちづくりに貢献することを目的とする。 【老人福祉センター】：高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。								
基本方針等	【公民館】：社会教育法の規定に基づき、住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するという設置理念に基づき管理運営を行う。 【老人福祉センター】：施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいづくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。								
主な実施事業	【公民館】：定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。貸館に関すること。 【老人福祉センター】：高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	吉田地区住民自治協議会			指定回数	1 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和2年3月31日	3年	管理運営開始日	平成29年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
		吉田公民館 利用者数	人	55,155	54,750	55,104	49,389	90%	3
		吉田公民館 利用率	%	36.5	35.4	36.5	34.8	95%	
		老福:生きがいづくり講座受講者数	人	3,806	3,675	3,679	3,610	98%	
		老福:地域福祉活動利用者数	人	2,296	2,866	1,425	1,330	93%	
		老福:グループ活動利用者数	人	2,974	2,707	1,570	1,228	78%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項)									

区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由
市指定事業	【公民館】 ・公民館の利用の許可に関する業務・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務・公民館の付帯設備及び物品の維持管理に関する業務 【老人福祉センター】 ・地域福祉活動に係る相談、指導及び調整・地域ボランティアの育成・地域福祉活動に関する講習会等の開催・地域福祉活動を行う者への会場提供・各種相談及び情報提供・高齢者を対象とする講座等の開催・高齢者のクラブ活動等の育成	
自主事業		

サービス維持・向上の取組み (広報等)	【公民館】【老人福祉センター】共通 公民館報2回/年、ノルテだより3回/年の発行により情報発信を行い、公民館、老人福祉センター活動の広報に努めた。各種講座等の案内チラシを地域に回覧した。また「広報ながの」「生涯学習だより」への掲載、市民新聞や週刊ながのへの記事掲載の利用等により、事業活動やその他情報を広く周知した。
---------------------	---

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者評価	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 【公民館】【老人福祉センター】共通 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。	
	(3) 調査、会議等の結果 【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】 【公民館】 「おいしい紅茶の楽しみ方」 募集16人 受講者15人中15人から回答 満足:100% 「明日から使えるイメージアップトレーニング」 募集30人 受講者30人中27人から回答 満足:89.3% やや満足:10.7% 「ハワイアンフラ」 募集20人 受講者19人中15人から回答 満足:80% やや満足:20% 【老人福祉センター】 「はじめての包丁とぎ」 募集30人 受講者30人中24人から回答 とても良い:75% 良い:25% 「音楽療法」 募集30人 受講者30人中25人から回答 とても良い:96% 良い:4% 「介護予防」 募集30人 受講者30人中22人から回答 とても良い:82% 良い:18%	
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 【公民館】 「おいしい紅茶の楽しみ方」 受講者の要望で開催した講座で、回数を増やし内容をバージョンアップしたため好評であった。 「明日から使えるイメージアップトレーニング」 祝日に開催した講座で、いきいきと地域に出かけることができると好評であった。 「ハワイアンフラ」 今年度復活した講座で、ミニ発表会を開催したこともあり受講者に好評であった。 【老人福祉センター】 「はじめての包丁とぎ」講師に地元の方をお願いしたため、親近感を覚えたとの評価をいただいた。教え方が上手だったと好評だった。 「音楽療法」大口を開け、大声で歌い、めずらしい楽器に触れ、あっという間の講座だった。感謝との評価を得た。 「介護予防」分かり易く、自分のやる気ひとつで、身体作りができることを実感できた等の評価を得た。	
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ≪対応措置≫	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	利用料金	570,000	利用料金	536,900	使用料	110,700	使用料	107,540	
収入	指定管理料	27,763,000	指定管理料	27,763,000	雑(納付金)	2,006,168	雑(納付金)	1,822,613	
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	1,894,000	その他収入	1,484,858	その他		その他		
	計	30,227,000	計	29,784,758	計	2,116,868	計	1,930,153	
支出	人件費	12,642,826	人件費	12,990,758	指定管理料	27,763,000	指定管理料	27,018,000	
	設備管理費	2,849,000	設備管理費	2,682,564	委託料		委託料		
	備品購入費	0	備品購入費	0	需用費	1,550,607	需用費	1,391,988	
	修繕費	300,000	修繕費	463,670	役務費		役務費		
	光熱水費	7,420,000	光熱水費	7,191,748	使用料・賃借料	410,046	使用料・賃借料	396,865	
	事業費	3,118,000	事業費	2,378,740	修繕費		修繕費		
	事務経費	3,108,508	事務経費	2,234,708	工事請負費		工事請負費	936,360	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	788,666	その他	1,035,634	その他		その他		
	計	30,227,000	計	28,977,822	計	29,723,653	計	29,743,213	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		806,936	差引	-27,606,785		-27,813,060	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								44.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長兼所長1人(1人)、副館長兼副所長兼主事1人(1人)、公民館事務職員2人(2人)、老人センター事務職員2人(2人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☑	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		☑
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 住民自治協議会の「教育・公民館部会」及び「福祉・保健部会」と連携し、共催事業を実施する。 2 吉田地区にある商業施設で実施している「ひな祭り」、「端午の節句」、「納涼祭」や「吉田ふるさと夏まつり」の行事を地区企業、吉田商工振興会との連携で行っていることを今後も推進する。 3 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り講座の講師、公民館・老人福祉センターの職員を地元から採用するように努める。 4 地域公民館との関係を大事にし、要請に応じた指導や助言を行い連携を図る。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	1 住民自治協議会の「教育・公民館部会」及び「福祉・保健部会」と連携し、共催事業を実施する。 2 吉田地区にある商業施設で実施している「ひな祭り」、「端午の節句」、「納涼祭」や「吉田ふるさと夏まつり」の行事を地区企業、吉田商工振興会との連携で行っていることを今後も推進する。 3 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り講座の講師、公民館・老人福祉センターの職員を地元から採用するように努める。 4 地域公民館との関係を大事にし、要請に応じた指導や助言を行い連携を図る。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
1 住民自治協議会の「教育・公民館部会」及び「福祉・保健部会」と連携し、共催事業を実施する。 2 吉田地区にある商業施設で実施している「ひな祭り」、「端午の節句」、「納涼祭」や「吉田ふるさと夏まつり」の行事を地区企業、吉田商工振興会との連携で行っていることを今後も推進する。 3 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り講座の講師、公民館・老人福祉センターの職員を地元から採用するように努める。 4 地域公民館との関係を大事にし、要請に応じた指導や助言を行い連携を図る。				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>講座開設にあたり、受講者から要望のあった講座の実施や、祝日に講座を開講するなど工夫がみられた。講座の実施にあたっては、地元の講師を多く採用し、ハワイアンフラ講座では、学ぶだけでなく、ミニ発表会を企画実施した。子ども書初め教室では成人学校で学んだ受講者が講師となるなど、学ぶ側から教える側へ学びの満足度をアップし、利用者ニーズを生かした場を提供したことを評価し「利用者評価」を「4」とした。</p>
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	次年度においても、引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。
---------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【公民館】

・親子でお弁当デビュー、ヨガ、こんにゃくづくり等、新規講座を開設し、受講者要望に応えた。また、冬休み中の書初めに取り組みないという親子を対象に「年内に宿題を片付けよう」と銘打って「子ども書初め教室」を開講。予想を超える申し込みがあり、概ね高評価を得た。
 ・特定の方が長期にわたり、受講者となっている講座について、先着順ではなく初心者優先とし、受講者の底辺拡大を行った。しかし、継続者から苦情が出たため、新たに同様の講座を開設した。新たな講座は、ボランティアの協力と地元の方に講師をお願いした。

【公民館・老人福祉センター共通】

・アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行った。
 ・男性が参加しやすい講座を開催した。

② 業務の効率化に対する取組み

【公民館・老人福祉センター共通】

・講座を実施するにあたり、運営協力者としてボランティアを募集し、職員の負担軽減を図り、その間に他の事務を進めることができた。
 ・音響関係について、業者に依頼したことによりスムーズな講座運営ができた。
 ・職員が手を貸さず、任せられるものは、講師・受講者に委ね、自主性を醸成することに努めた。
 ・地元の方等に講師の依頼をし、受講しやすさを図るとともに、講師謝礼金の軽減を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

【公民館】【老人福祉センター】共通

・前年度に人気のあった講座を継続開催し、人気の少ない講座は開催をやめた。利用者要望や他地区の講座を参考に企画し、事業内容の維持と充実を図ったことにより概ね高評価を得たが、定員を上回る応募につながらない講座もあった。
 ・施設の破損等に対しては、適宜修繕を行い、可能な限り施設の維持管理に努めた。

② 次年度以降の取組み

【公民館】【老人福祉センター】共通

・アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行う。
 ・男性が参加しやすい講座を開催する。
 ・ボランティアの一層の育成に努める。
 ・ホームページを開設し、インターネットを通じての事業活動の広報を図る。